



発行日  
令和5年2月3日  
発行責任者  
施設長 伊藤 憲治  
発行担当者  
帯広信楽苑広報委員会  
TEL0155-49-6300  
ホームページ  
<http://www.shinsyukyoukai.jp>



## 特設神社で

### 初詣

1月1日特設神社で、昨年から続くコロナ・戦争・物価高等が終息し、令和5年は明るい出来事が多い、良い年になるようにと願いを込め、新年のお参りをしました。

1月4日は事務所の仕事始めとなり、新年交礼会を開催。施設長の挨拶から始まり、年男・年女のご紹介、栄養士からは正月料理の説明がありました。乾杯の音頭を年女の佐藤菊様、山縣浩子様を務めていただき、お屠蘇や甘酒、おせち料理を召上っていただきました。

午後からは新春カラオケ披露会を開催しました。歌い手は昨年も活躍されていたカラオケ慰問団体『どんぐり』に加え、利用者さん4名が参加し、今年初の歌声を披露。威勢の良い新年のスタートとなりました。今年も卯年、皆さん飛躍される一年になりますように。

(記事 山口 佳輝)



新春カラオケ披露会



無病息災・長寿を願うおせち



施設長からのお屠蘇



# クラブ活動再開

# 書道リモート活用



コロナの影響で講師を招いてのクラブが中止となつて2年、新たな試みとして、リモートでのクラブ再開となりました。ライン登録から、画面の設定など慣れないスマートフォンに四苦八苦したのち、小さな画面でしたが講師の姿が映し出されると、参加した利用者さんが一斉に手を振られ「先生、元気でしたか？」と笑顔になり、久しぶりの再会を喜ばれていました。筆をとるのも久しぶりでしたが、皆さん堂々と勢いのある文字を書かれていました。1時間という短い時間でしたが楽しい時間を過ごされたと思います。

リモートというツールの活用も良いですが、直接指導を受けられる日が来る事を願うばかりです。

(記事 阿部 一美)



リモートで講師と久しぶりの再会



「さざんかの宿」を熱唱

## レクリエーション



お正月用のお花を生けました



## 華道





**特上ちらしにニッコリ**

大好評のお寿司行事です！  
今年も宅配寿司「銀のさら」から出前をとり、11月10日に1階、11月11日に2階、11月14日に3階とフロアごとに開催しました。

普段の食事形態に合わせて、「特上ちらし」「海鮮バラちらし」「ネギトロ丼」のいずれか、お味噌汁、茶わん蒸しを召し上がっていました。マグロやサーモン、ブリ、ほたて、海老、いくら、玉子等の新鮮なネタが、お重いっぱい詰まっています。利用者さんは「また食べたいね」「美味しい！」「お腹いっぱい！」など笑顔で話され、完食された方、シヤリの量を調節しながらネタは全て召し上がった方など様々でした。

(記事 宮本 大輝)





# 1年間 お疲れさまでした

12月に毎年恒例のフロア忘年会を開催しました。1階2階は和食、3階は中華料理を中心に利用者さんに楽しんで頂ける献立を検討。天井や赤飯、あんかけチャーハンに刺身や茶わん蒸し、唐揚げやエビチリなどの他、漬物盛り合せ、デザート盛り合せ（ケーキやプリンなど）も用意。緊張の中忘年会スタート。料理が配膳されるとワクワクと歓声が上がっていました。シャンメリーを片手にみんな



で乾杯！いつもと違う立や雰囲気の中、楽しんで食べて頂きました。食事を楽しんだ後は、抽選会を開催。1〜10等までの景品獲得に向け、くじを引いて頂きました。一人引くごとに歓声が聞かれ、それぞれが景品を手にしたところで、楽しい時間はあっという間に過ぎるもの。最後にこの一年健康に過ごせたことに感謝し一本締めで閉会しました。

（記事 嶋田 恵子）



# 2022 大忘年会



# 施設長より 新年のご挨拶



2023年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

ご家族の皆様におかれましては、日頃より帯広信楽苑の施設経営に對しまして御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、令和2年から始まった世界的な新型コロナウイルス感染症流行の終息が見

通せないまま、ご家族の皆様には利用者の皆様との面会制限を継続させて頂いており、多大なるご迷惑をおかけし誠に申し訳ございません。心よりお詫び申し上げます。

十勝管内でも感染者数が高止まりし、多くの福祉施設においてクラスターが発生してはいますが、利用者の方々の皆様のご協力は勿論のこと、ご家族の皆様にも感染対策にご理解とご協力を頂き、帯広信楽苑では、利用者の皆さんから一人の感染者も出さなく新年をむかえられたことを深く感謝申し上げます。

政府は、これまでの国民の行動制限や経済活動の制限を見直し、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を閣議決定し『ウイズコロナ』下での社会経済活動の再開を推進し始めました。また、国民には新型コロナウイルスを想定した

「新しい生活様式」「行動変容」を求めています。しかしながら、政府の政策や、国民の意識が、ウイズコロナへとシフトしていくのは裏腹に、高齢者施設では、重症化リスクの高い利用者が多く利用されているため、社会の潮流に合わせて、行動制限や感染対策を直ち

に緩和していくことは難しく、今後も感染対策を継続していかねばなりません。皆様の笑顔が溢れる日常を取り戻せることに希望をもつて安全安心な施設運営を進めていきたいと思っております。ご家族の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様の今年一年のご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。本年も変わらぬご厚誼のほどお願い申し上げます。

# 採用職員

支援員兼介護員  
あべ 航大  
こうだい



# 編集後記

まだまだ寒さが厳しい2月ですが、暦の上では春がやってきます。雪は降るし、日中でも気温は低いし、どこに春がやって来たのだろうと思ってしまうのですが、ほんの少しずつ季節は春へ向かっているんですね。  
(編集長 瀧本美実子)

『卯年』  
今年卯年(うとし)、いわゆる兎(ウサギ)年で、十二支では4番目に数えられます。ウサギの特徴を捉えた慣用句も多く存在し、例えば「ウサギの耳」と言えば、「地獄耳の事ですし」、「ウサギ

の昼寝」は油断をして思わぬ失敗をする事。また、ウサギには「跳ねる」という特徴がある為、卯年は景気が良くなるとも言われています。

# ちよつと... (ほのぼの)

「記事 田中 肖美」

